

第10回恵那南地区中学校再編委員会 平成28年1月15日(金) 岩村振興事務所

◇議題

1. 開会のあいさつ
2. 議事
 - ・学校統合の場所について（全体討議）
 - ・学校統合の時期について（全体討議）

◇概要

始めに第8回、第9回に出された意見、内容の確認を行い、その後答申作成に向けて「学校統合の場所」「学校統合の時期」の重要となることを確認するため、全体で討議を行いました。

統合の場所については、委員から次のような意見が出されました。

- ・上矢作地区、串原地区は通学時間に支障があると聞くので、場所は平等な位置や距離から山岡か岩村か、明智だと思っている。
- ・平等な位置は山岡ではあるが、山岡は遠いという意見もでている。また、明知鉄道に乗り換えるのは不便であるため、スクールバスで学校まで通学するという意見が多く出ていた。
- ・概ね1時間以内とあるが、1時間も通わせていいのだろうか。
- ・具体的に山岡地区の花白付近ともう少し現実的な内容を入れてほしい。
- ・新築費、スクールバスの運営費等の費用が重要である。

- ・既存校の改修に関する資料は、参考になった。それを基に新築は上乘せして費用がかかることは理解しているが、統合は新築でお願いしたい。
- ・毎年1時間を目途として、バスの大きさや運行ルートを見直す柔軟性を持たなければいけない。
- ・答申（案）について、原案作成を事務局に委任しても良いが、一度持ち帰って答申の方向性について地域、PTAで協議したい。

委員からあった「一度地域、PTAで話し合い、確認をしたい」という要望から、次回の委員会までをお願いすることとしました。

統合の時期については事務局より説明のみを行い、委員会を終了しました。



【第10回 全体討議の様子】

第11回恵那南地区中学校再編委員会 平成28年2月5日(金) 岩村振興事務所

◇議題

1. 開会のあいさつ
2. 議事
 - ・学校統合の場所について（全体討議）
 - ・学校統合の時期について（全体討議）

◇概要

第10回の委員会で出された各地域の意見を
確認し、地域の方向性や附帯事項（統合に願う
こと）を発表していただきました。（右欄）

それにより、

○「場所」については山岡町地区とし、通学時
間が約1時間となるよう考える

○「時期」については5年後の平成33年度を
目標とする

上記により答申案を作成することで承認され、
答申案の骨子を事務局より説明し、委員会を終
了しました。

次回は、答申内容について討議を行います。



【答申について確認する委員長】

各地区の意見は次のとおりです。

【岩村】

- ・一つの学校に統合し、場所は明知鉄道沿いで
新築校とする。
- ・統合の時期については5年後の平成33年度
を前向きに検討したい。

【山岡】

- ・場所は、時間的、距離的にも中心の山岡地内
が良い。
- ・時期はなるべく早い時期にという意見がある
が、土地、設計等を含めると4年から5年は必
要である。

【明智】

- ・場所は中心地が最適という最終結論である。
- ・時期は、平成33年度を目途にということが
妥当である。

【串原】

- ・統合は1校、場所は山岡地区の案を前向きに
受け入れる。
- ・時期は、5年を目安とする。

【上矢作】

- ・上矢作・串原地区のことを配慮した通学は1
時間以内という方法になることを条件に、場所
は1校であれば山岡地区に新築となった。
- ・時期は、財政的な裏付け、年度の計画が無い
と判断できない。

※ この「たより」は、恵那南地区中学校再編委員会の動きをみなさんに広くお知らせしていくものです。